



2016年度第2四半期 決算説明会

2016年10月31日

常務取締役

梶原 仁

本資料に記載されている業績見通しや将来予測は、
資料作成時点での当社の判断であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる結果となる
可能性があることをご承知おきください。

2017年3月期
第2四半期
連結業績実績

連結業績の状況

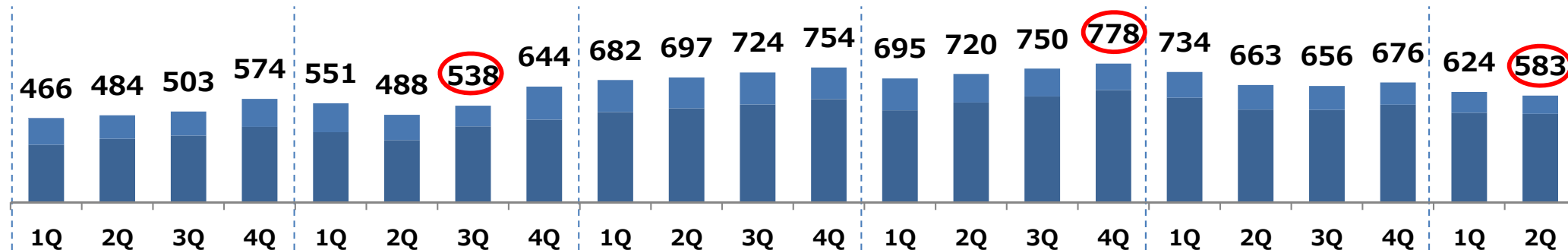
	2015年度2Q累計 (2016年3月期)	2016年度2Q累計 (2017年3月期)	増減 (前年同期比)	為替影響
売上高	1,397億円	1,208億円	△188億円 △13.5%減	純売上高減△ 41億円 為替影響 △147億円 《為替影響の内訳》 ・USD △101億円 ・EUR △ 25億円 ・CNY他 △ 21億円
営業利益	35億円	12億円	△ 22億円 △ 63.6%減	
経常利益	38億円	△1億円	△ 39億円 —	
親会社四半期 純利益	114億円	△21億円	△135億円 —	
	¥122/\$ ¥135/€	¥105/\$ ¥118/€	△17円/\$ △17円/€	
1株当たり四半期 純利益 (E.P.S.)	165円30銭	△30円56銭	【為替感応度】 営業利益影響 ・USD 1円影響 0.50億円(1.0億円/年) ・EUR 1円影響 0.65億円(1.3億円/年)	
配当	15円(中間)	15円(中間)		
R.O.E.	7.8%	△1.6%		
R.O.A.	5.3%	△1.1%		

四半期業績の推移 (セグメント別)

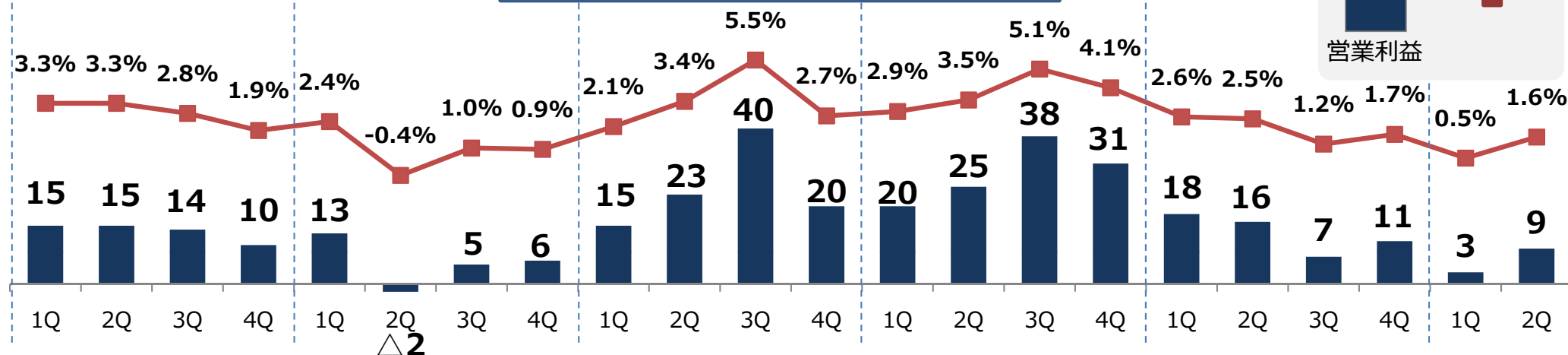
単位:億円

四半期毎の売上高推移

音響機器
情報通信機器
売上高



四半期毎の営業利益推移



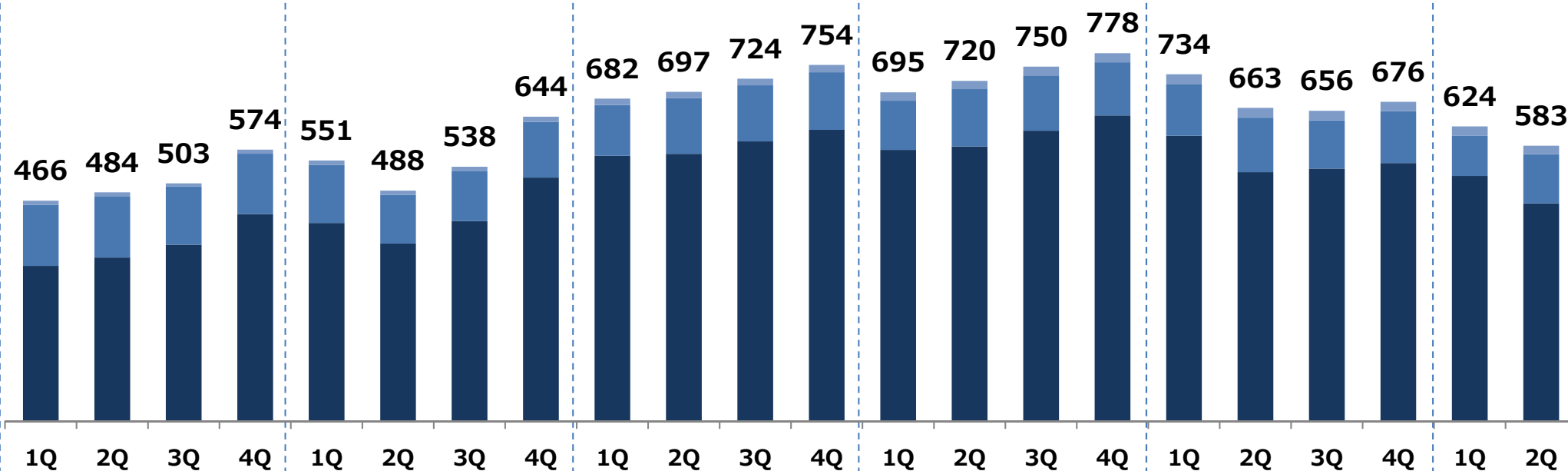
	2012年3月期				2013年3月期				2014年3月期				2015年3月期				2016年3月期				2017年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
米ドル/円	81.7	77.9	77.4	79.3	80.2	78.6	81.2	92.4	98.8	99.0	100.5	102.8	102.2	103.9	114.5	119.1	121.4	122.2	121.5	115.5	108.1	102.4
1-円/円	117.4	110.2	104.3	104.0	102.9	98.4	105.3	122.0	129.0	131.1	136.7	140.8	140.1	137.8	143.1	134.2	134.2	136.0	133.0	127.2	122.0	114.3

四半期業績の推移（販売先別）

その他
市販
OEM

単位:億円

四半期毎の売上高推移



	2012年3月期				2013年3月期				2014年3月期				2015年3月期				2016年3月期				2017年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
米ドル/円	81.7	77.9	77.4	79.3	80.2	78.6	81.2	92.4	98.8	99.0	100.5	102.8	102.2	103.9	114.5	119.1	121.4	122.2	121.5	115.5	108.1	102.4
1-円/円	117.4	110.2	104.3	104.0	102.9	98.4	105.3	122.0	129.0	131.1	136.7	140.8	140.1	137.8	143.1	134.2	134.2	136.0	133.0	127.2	122.0	114.3

単位:億円

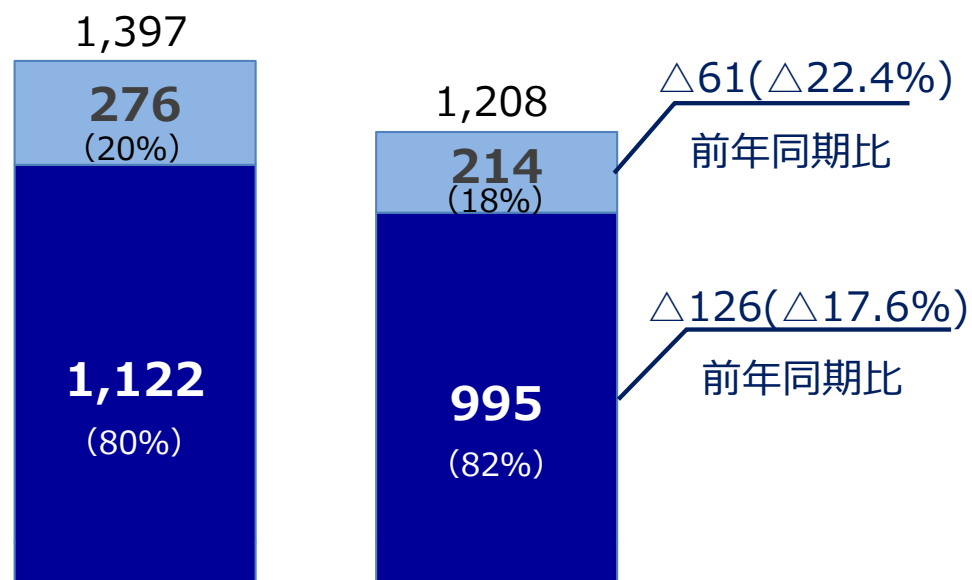
セグメント別

前年同期比 Δ **188**



音響
情通

[純売上高減 Δ 41, 為替影響 Δ 147]



2016年3月期
2Q累計

¥122/\$
¥135/€

2017年3月期
2Q累計

¥105/\$
¥118/€

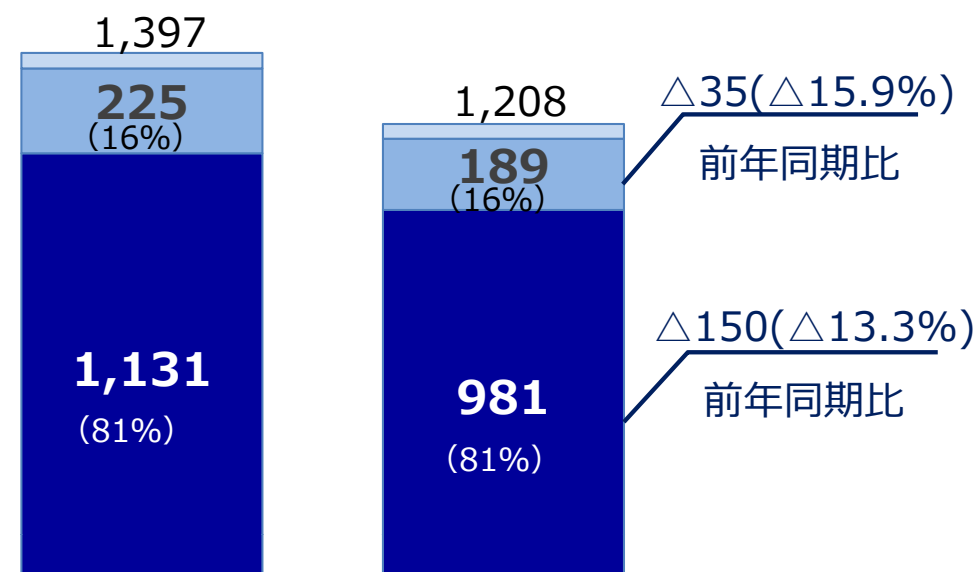
販売先別

前年同期比 Δ **188**



その他
市販
OEM

[[純売上高減 Δ 41, 為替影響 Δ 147]



2016年3月期
2Q累計

¥122/\$
¥135/€

2017年3月期
2Q累計

¥105/\$
¥118/€

地域別売上高実績(2Q累計)

単位:億円

音響機器
情報通信機器

16年3月期
2Q累計

17年3月期
2Q累計

北米

前年同期比 Δ 22.6% 

欧州

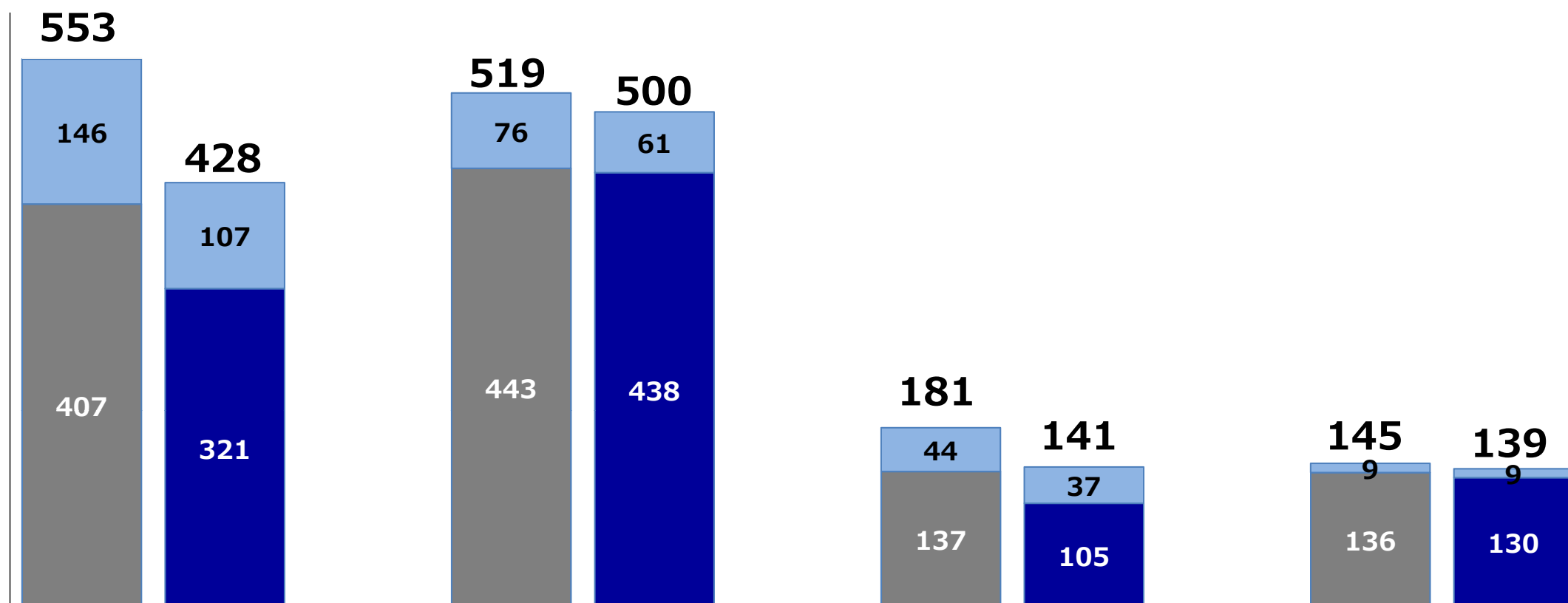
前年同期比 Δ 3.7% 

中国・アジア

前年同期比 Δ 22.1% 

国内

前年同期比 Δ 4.1% 



営業利益の状況(2Q累計)

営業利益

単位:億円

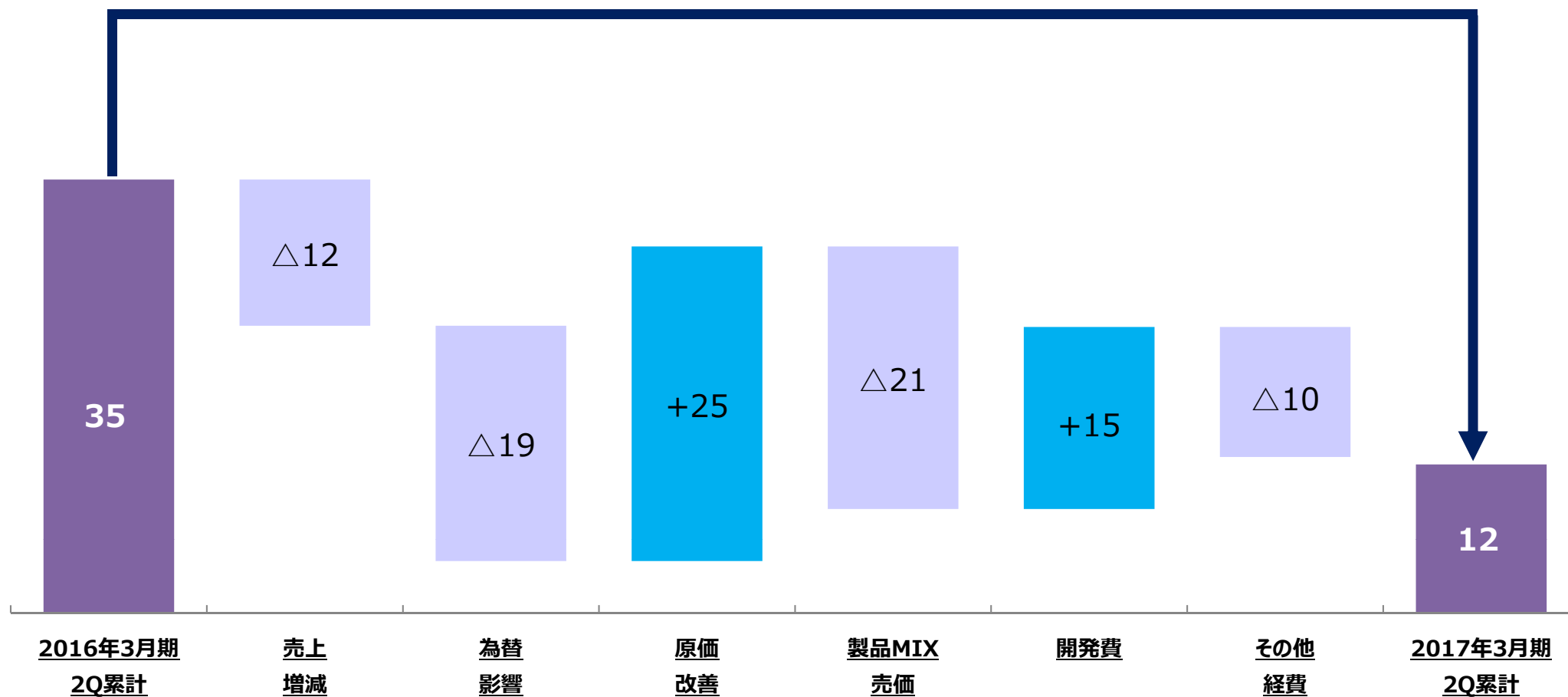
増益要因



減益要因



前年同期比 $\Delta 22$

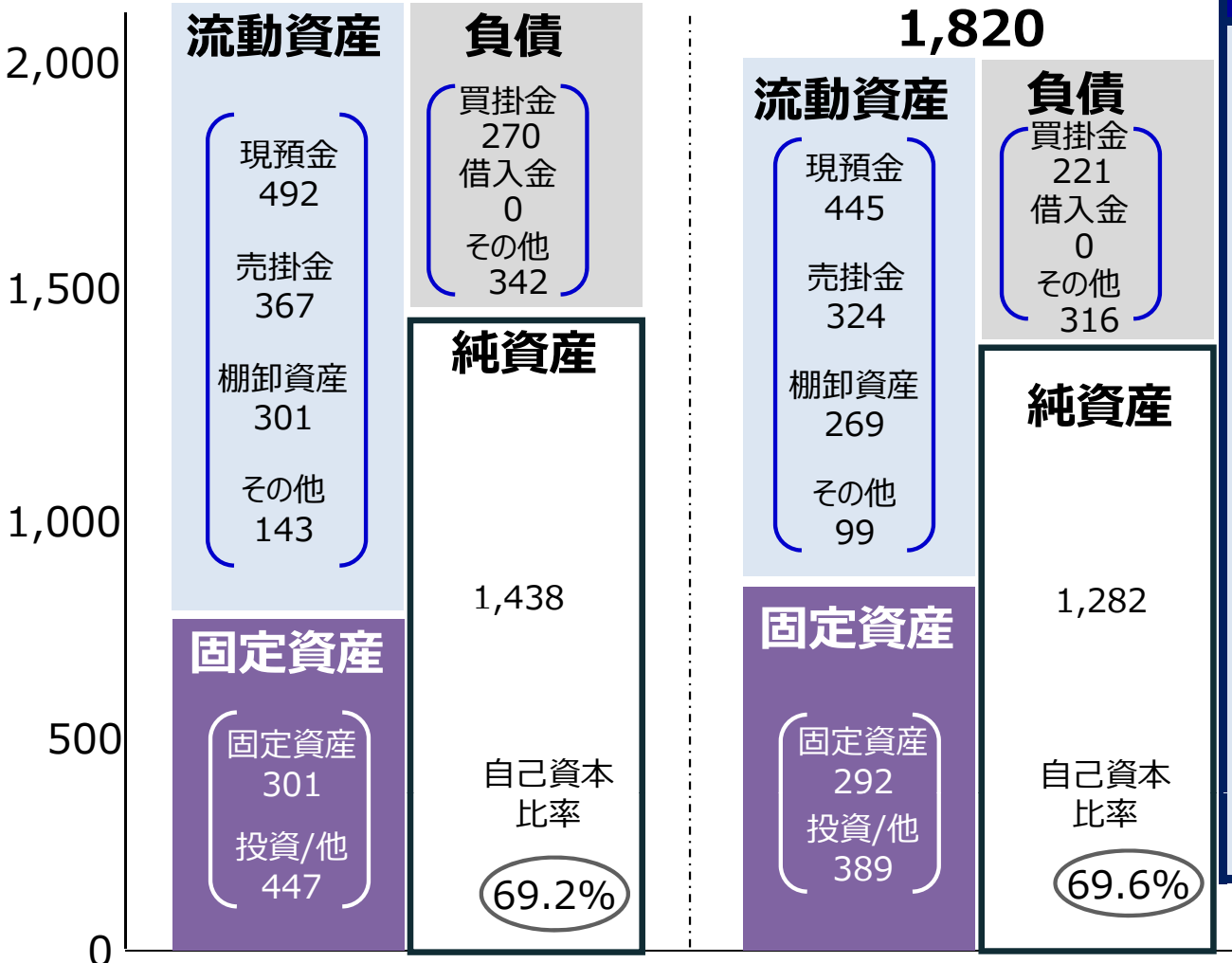


単位:億円

総資産
2,051

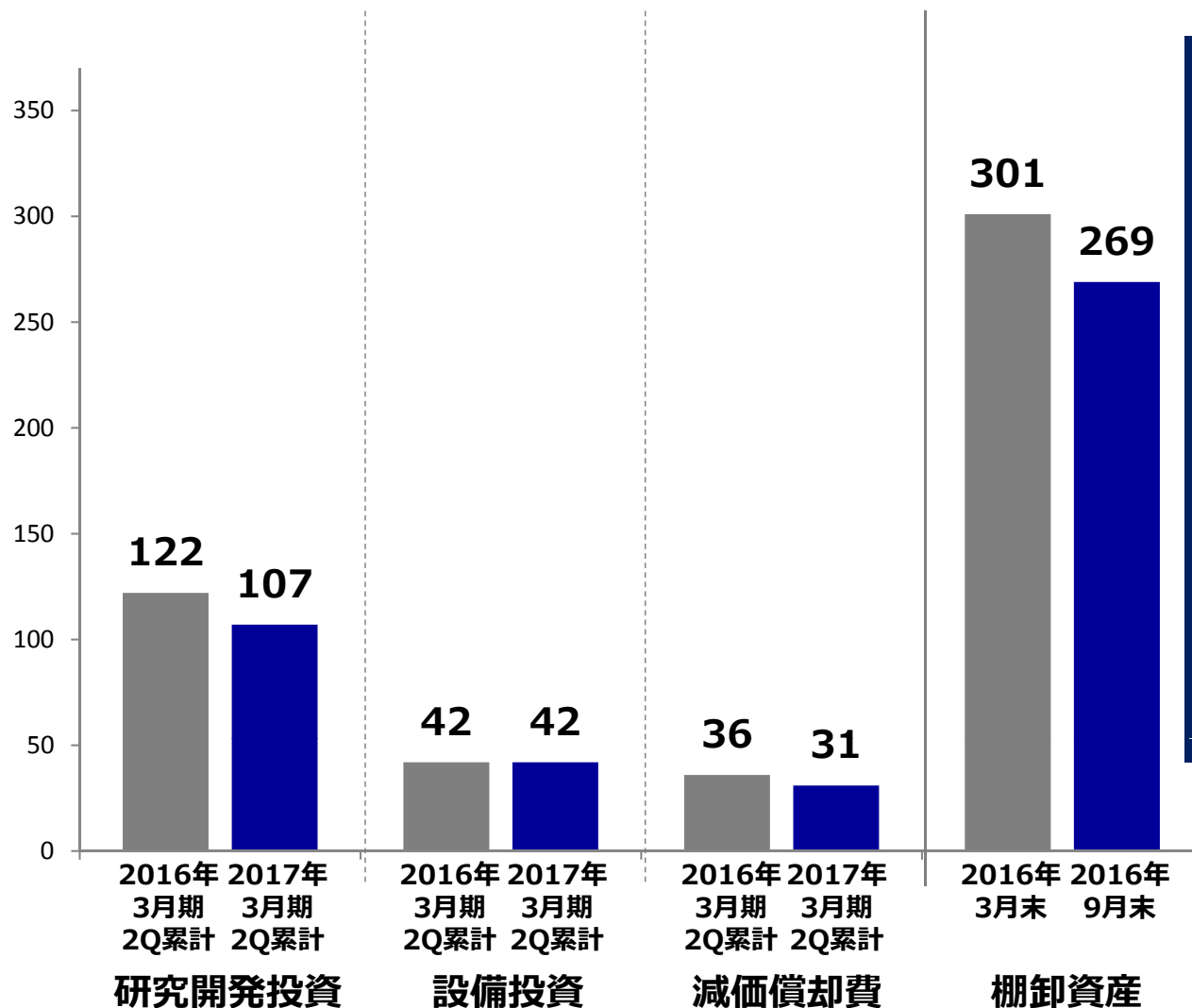
総資産
1,820

ポイント



- 総資産1,820(△231)
(内、為替影響△158)
 - 流動資産1,138 (△165)
 - ・現預金445 (△47)
 - ・売掛金324 (△42)
 - ・棚卸資産269 (△31)他
 - 固定資産681 (△66)
 - ・有形/無形固定資産△8
(内、会計方針に伴う増+6)
 - ・有価証券/投資等△57
(時価評価△9、持分法△46、他)
- 純資産 1,282 (△155)
 - ・四半期純損失△21、配当△10
 - ・その他有価証券評価差額△18
 - ・為替換算調整勘定減△103、他

単位:億円

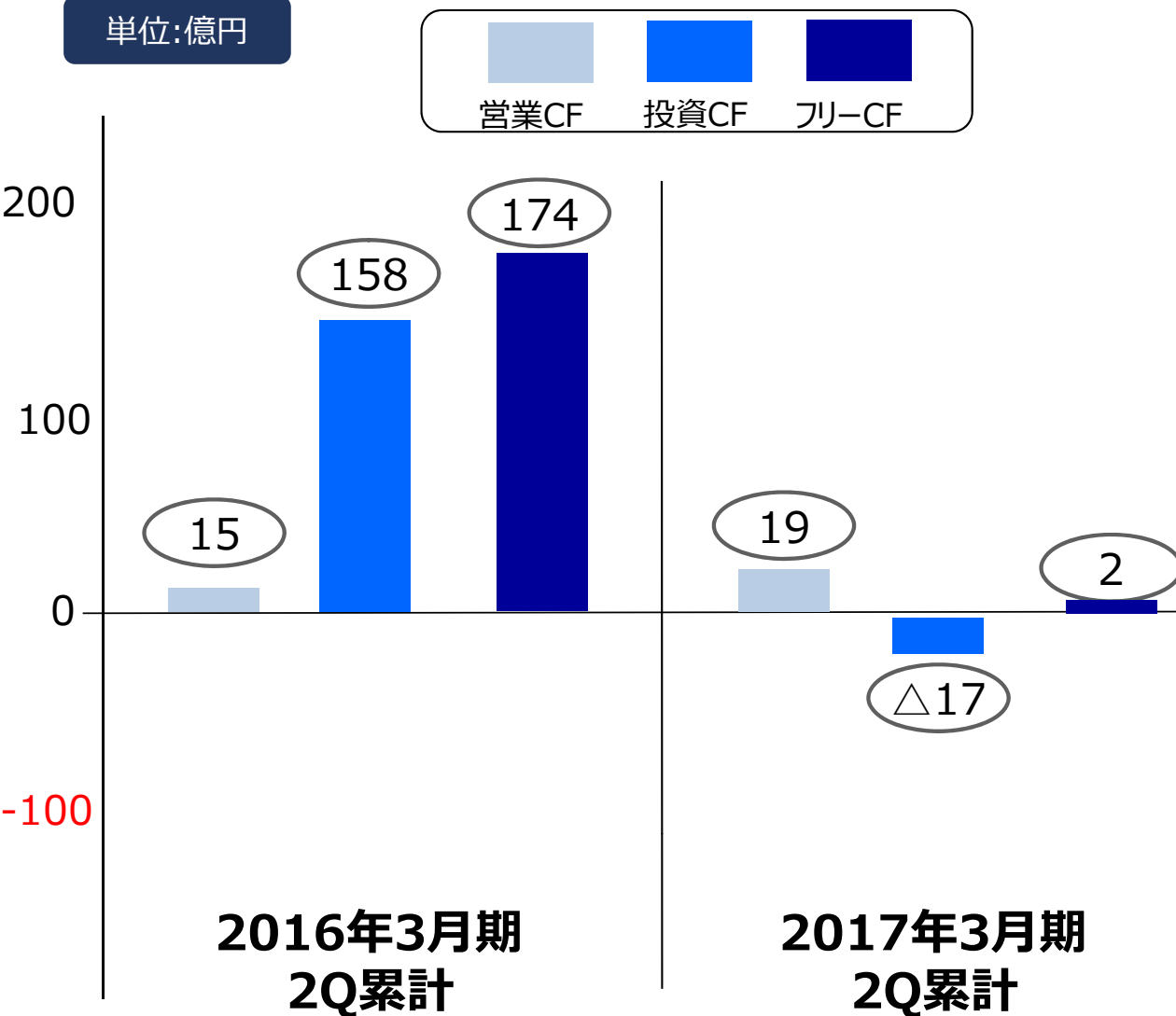


ポイント

- 開発投資△15**
・会計方針変更に伴う減△6、他
- 設備投資±0**
- 減価償却費△5**
・為替影響による減
- 棚卸資産△31**
・昨年度末から継続した在庫削減活動と為替影響による減

キャッシュ・フロー実績（2Q累計）

単位:億円



ポイント

フリーCF + 2

1. 営業CF + 19 (前年同期は + 15)

- ・税金等調整前四半期純損失△0.8
- ・減価償却費 + 31
- ・法人税等の支払い△14、他

2. 投資CF △17 (前年同期は + 158)

- ・有形/無形固定資産取得△42
- ・貸付△20
- ・貸付金回収 + 44

2017年3月期
連結業績予想

2017年3月期 通期業績予想

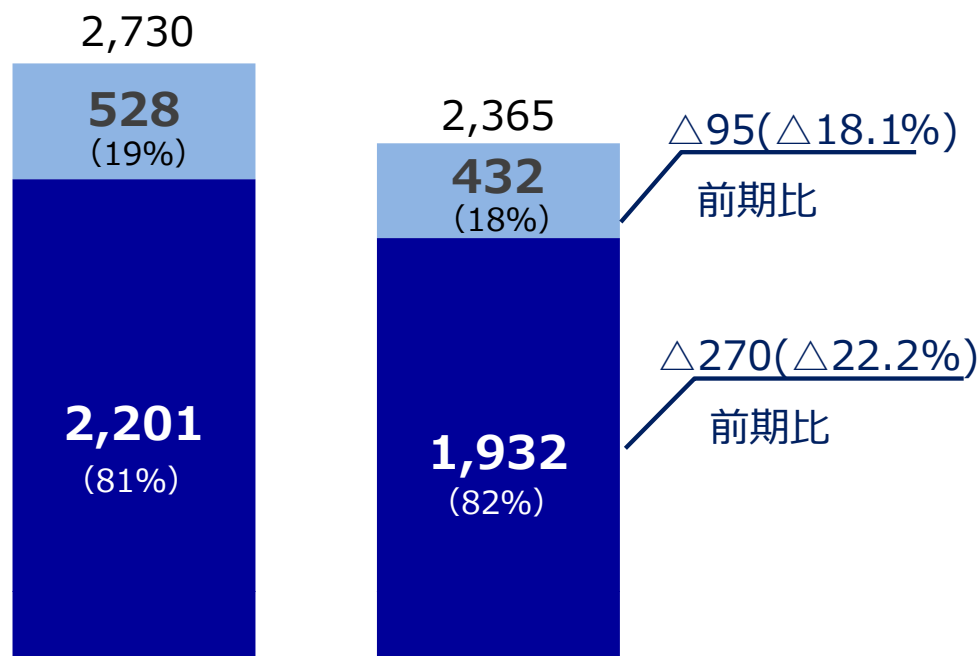
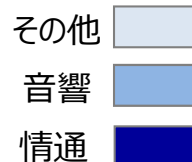
	2017年3月期(7/27公表値)			2017年3月期(10/28修正公表値)				
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期差異	通期差異
売上高	1,250億円	1,306億円	2,556億円	1,208億円	1,158億円	2,365億円	△42億円	△191億円
営業利益	6億円	33億円	39億円	12億円	10億円	23億円	6億円	△16億円
経常利益	△6億円	33億円	27億円	△1億円	9億円	8億円	5億円	△19億円
親会社 当期純利益	△20億円	11億円	△9億円	△21億円	△4億円	△25億円	△1億円	△16億円
	¥107/\$ ¥119/€	¥110/\$ ¥125/€	¥108/\$ ¥122/€	¥105/\$ ¥118/€	¥100/\$ ¥110/€	¥103/\$ ¥114/€	△¥1/\$ △¥0/€	△¥6/\$ △¥8/€
1株当たり 当期純利益 (E.P.S.)			△13円06銭			△36円27銭		△23円21銭
配当			30円(予定)			—		—
R.O.E.			△0.7%			△1.9%		△1.2%
R.O.A.			△0.5%			△1.3%		△0.8%

単位:億円

セグメント別

前期比 $\Delta 365$

[純売上高減 $\Delta 50$, 為替影響 $\Delta 315$]



2016年3月期
実績

¥120/\$
¥133/€

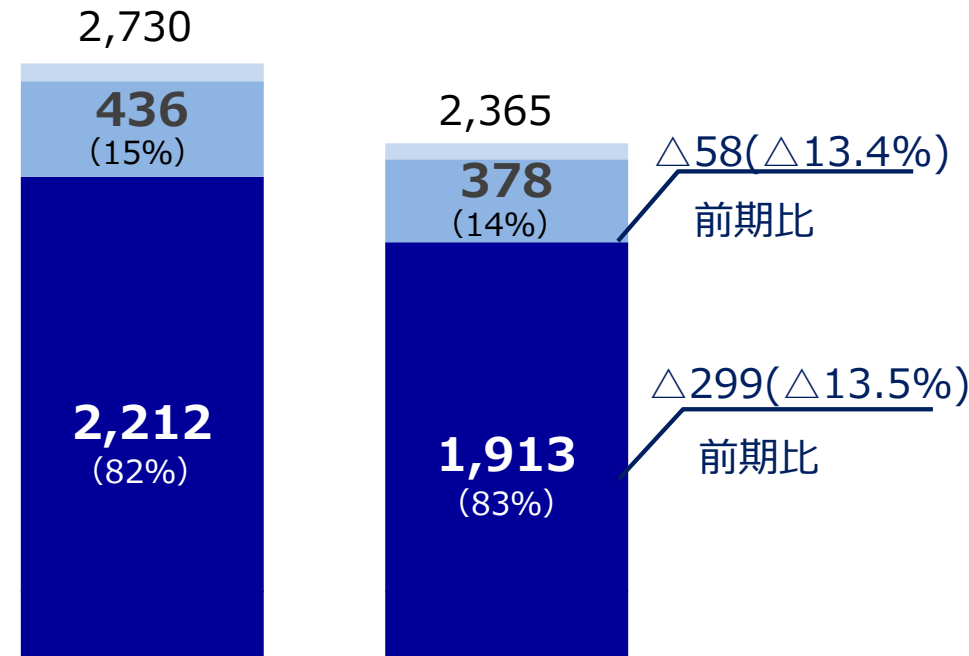
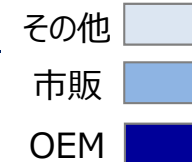
2017年3月期
予想

¥103/\$
¥114/€

販売先別

前期比 $\Delta 365$

[純売上高減 $\Delta 50$, 為替影響 $\Delta 315$]



2016年3月期
実績

¥120/\$
¥133/€

2017年3月期
予想

¥103/\$
¥114/€

地域別売上高予想（通期）

単位:億円

音響機器
情報通信機器

16年3月期実績 17年3月期予想

北米

前期比 △18.3%

欧州

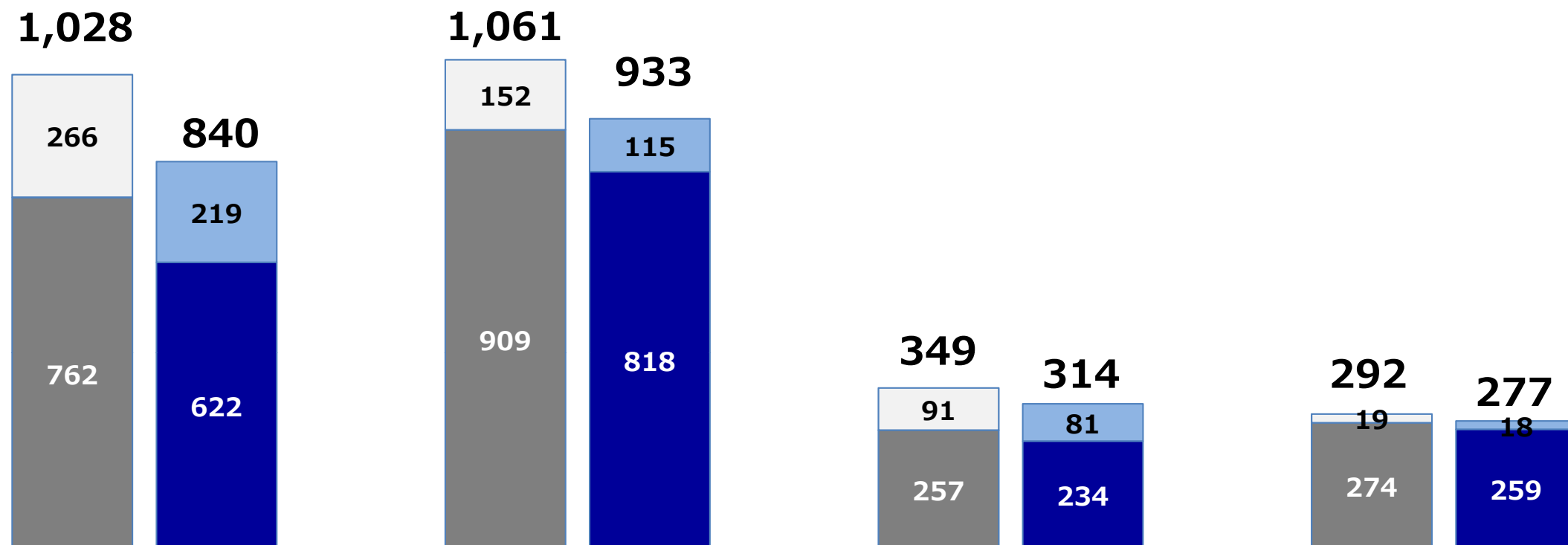
前期比 △12.1%

中国・アジア

前期比 △9.9%

国内

前期比 △5.1%



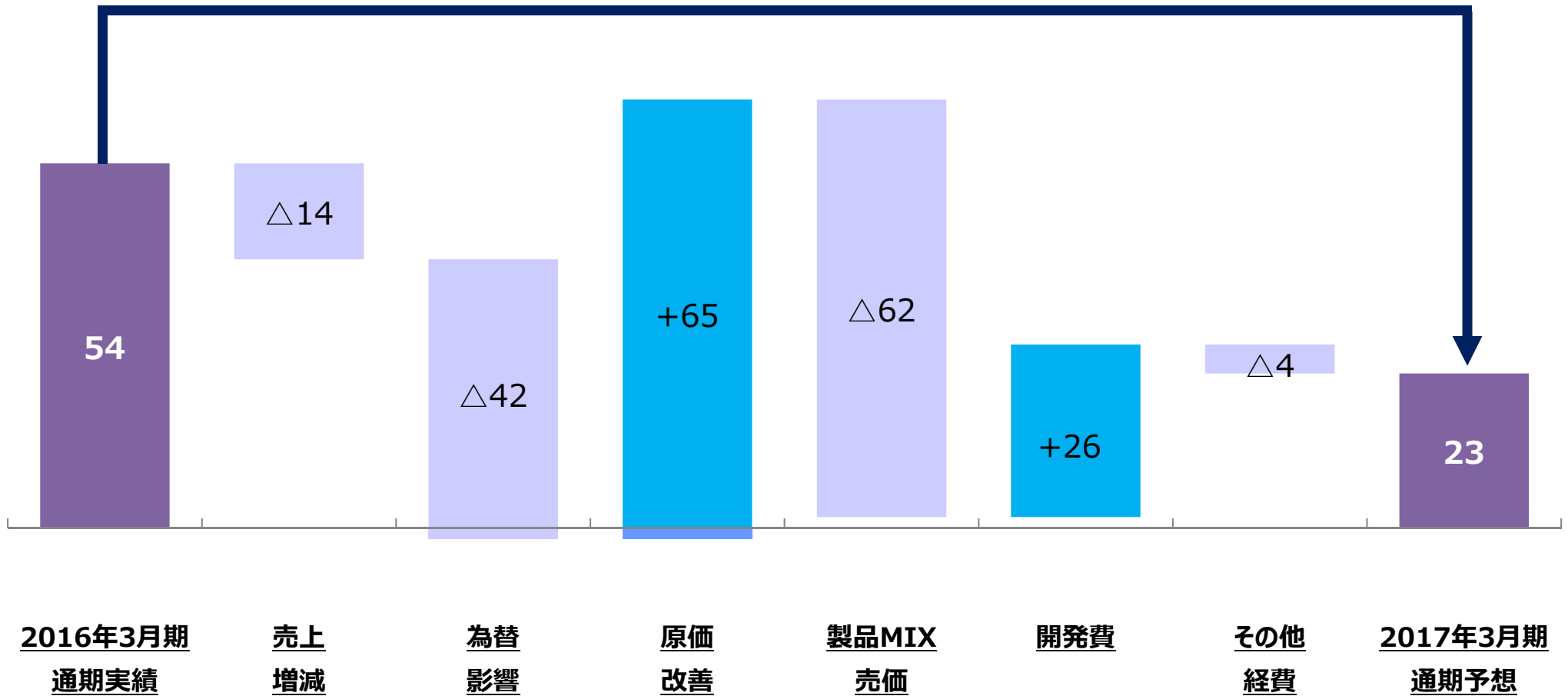
営業利益予想(前期比)

単位:億円

営業利益

前期比 $\Delta 31$

増益要因
減益要因



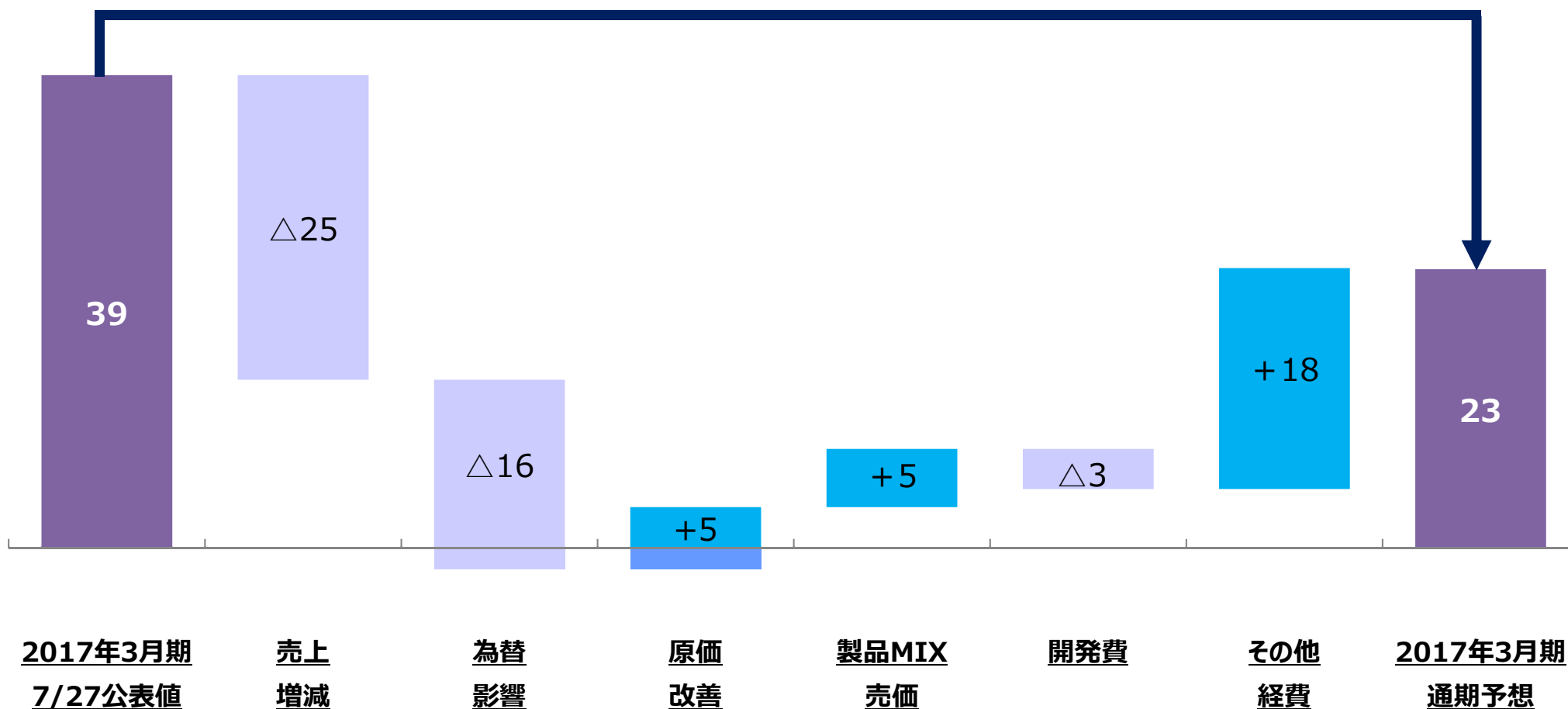
単位:億円

営業利益

前期比 $\Delta 16$ 

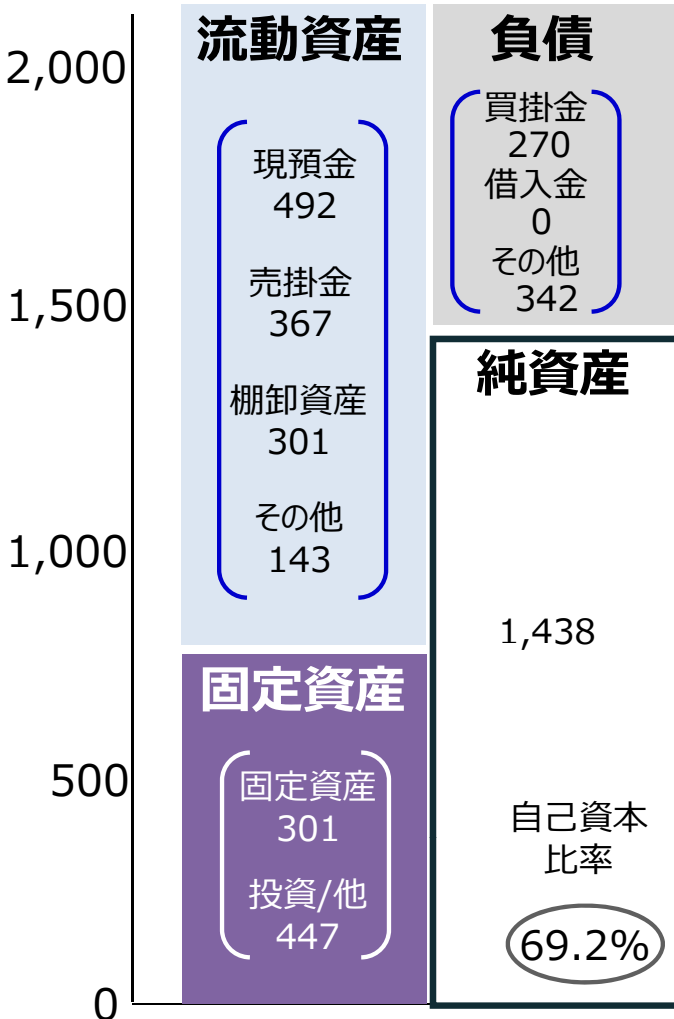
増益要因 

減益要因 



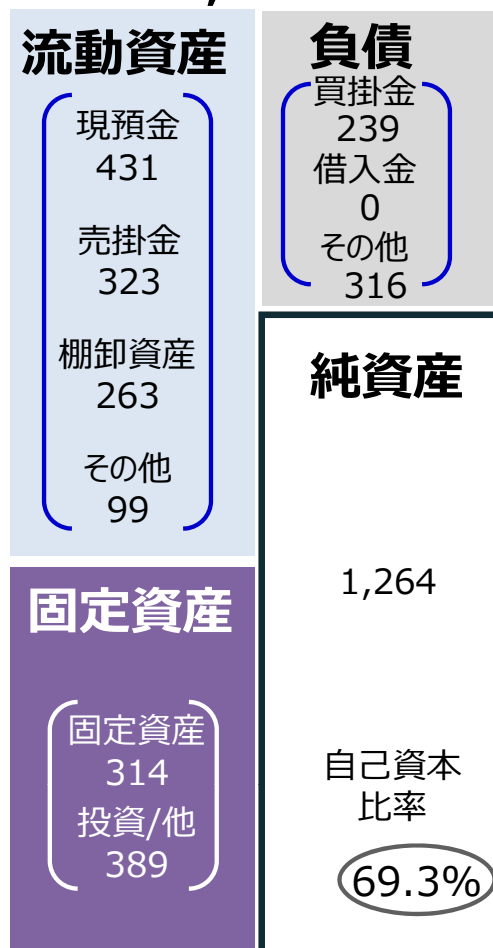
単位:億円

総資産
2,051



2016年3月期末実績

総資産
1,819

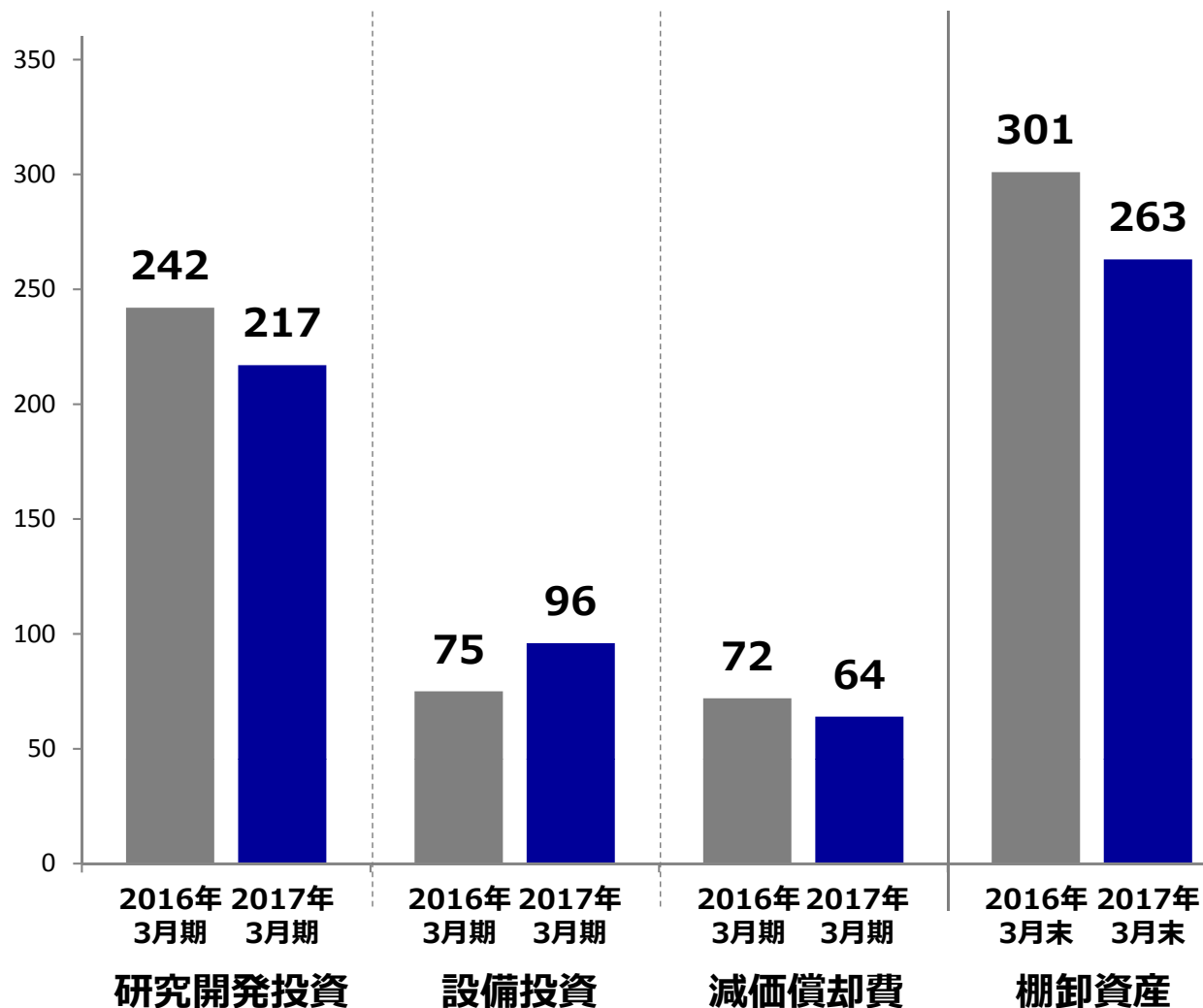


2017年3月期末予想

ポイント

- 総資産1,819(△232)
(内、為替影響△158)
 - 流動資産1,116 (△187)
 - ・現預金431 (△61)
 - ・売掛金323 (△44)
 - ・棚卸資産263 (△38)他
 - 固定資産703 (△45)
 - ・有形/無形固定資産増+12億円
(会計方針変更による増+9億円を含む)
 - ・有価証券△16
(時価評価減他△8、持分法取込△8他)
 - ・投資等△42億円
- 純資産 1,264億円(△174)
 - ・純損失△25、配当△21
 - ・その他有価証券評価差額△18
 - ・為替換算調整勘定減△103、他

単位:億円



ポイント

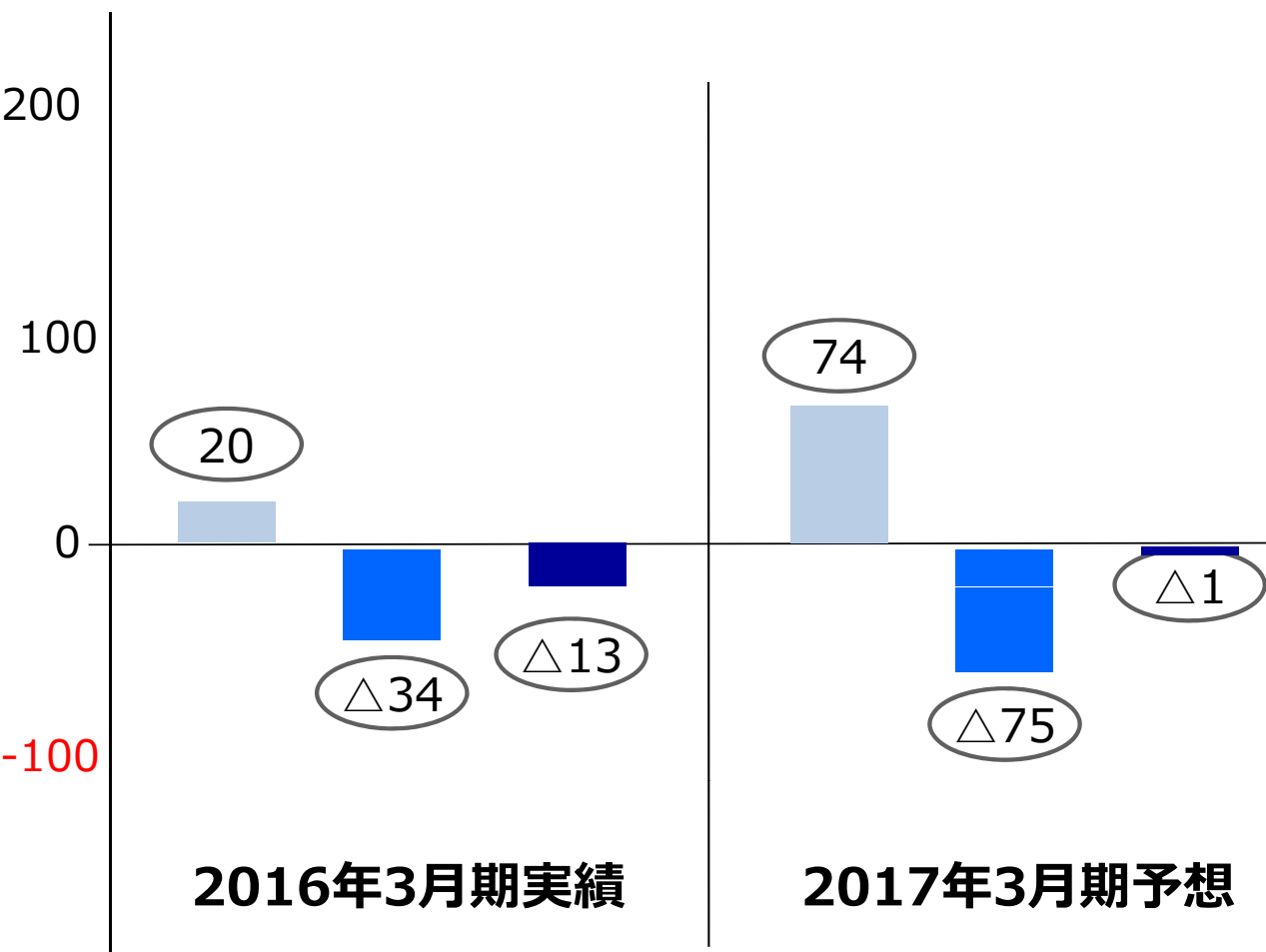
- 開発投資△25**
・会計方針変更に伴う減△9、その他△16
- 設備投資+21**
・会計方針の変更に伴う増+9、その他+12
- 減価償却費△8**
・為替影響による減
- 棚卸資産△38**
・昨年度末から継続した在庫削減活動と為替影響による減

単位:億円

営業CF

投資CF

フリーCF



ポイント

フリーCF $\Delta 1$

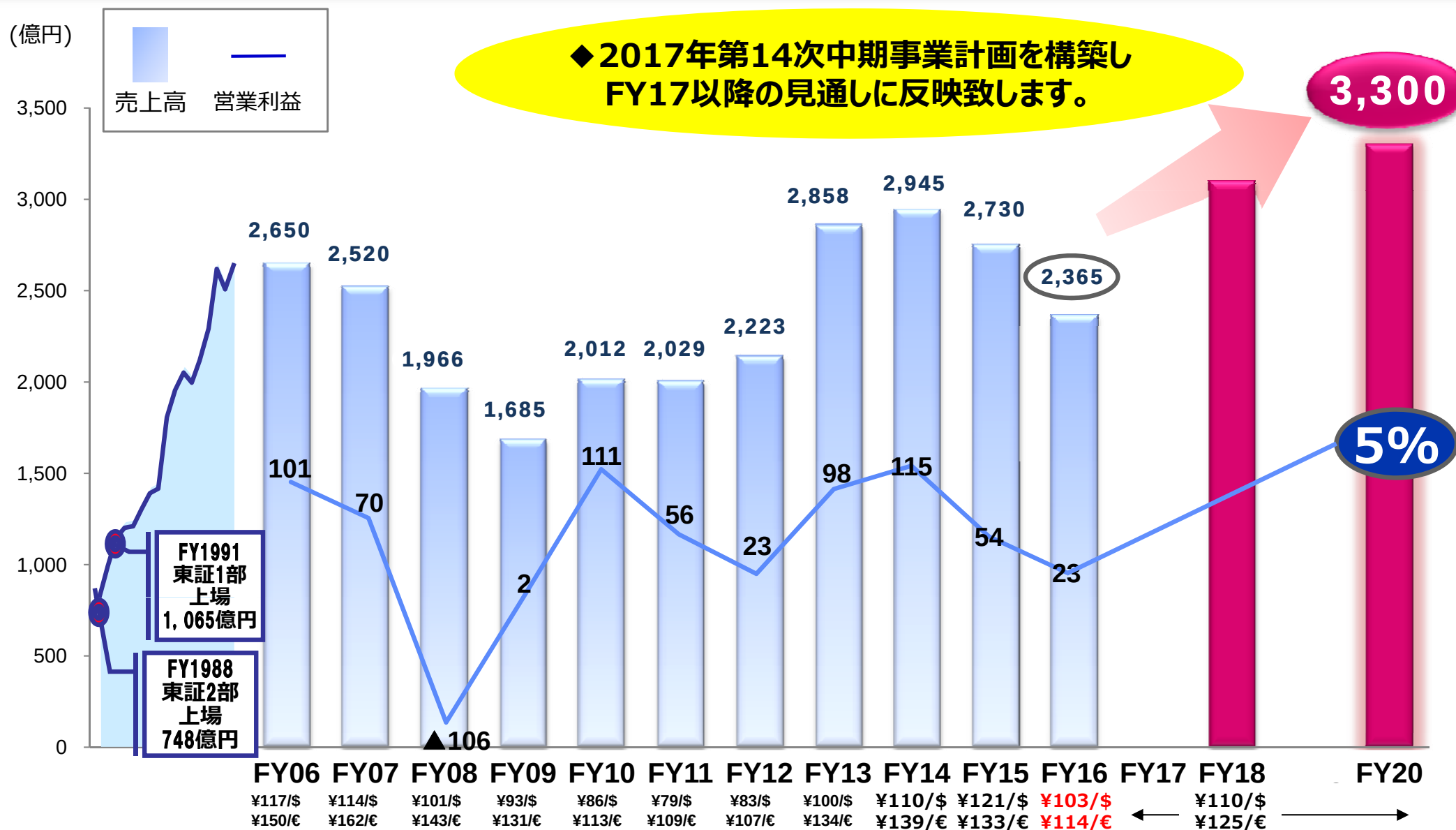
1. 営業CF +74

- ・税金等調整前当期純利益 +8
- ・減価償却費 +64、他

2. 投資CF $\Delta 75$

上期活動報告と 今後の取組み

収益性を向上し、2020年 営業利益率5%を目指す。



技術力や製品機能が市場やOEM顧客より高く評価される。



ビッグXシリーズ 5年連続

顧客満足度1位
(市販据え置き型ナビセグメント)

全4ファクターのうち、「モニター」、「操作性」
「音楽／映像機能」でトップ評価獲得

ビッグXシリーズ 4度目

日刊自動車新聞
用品大賞2016 グランプリ

1万7千点の頂点

2年連続受賞

GM
Supplier of the Year

戦略的サプライヤーとして評価



11インチ画面カーナビと「未踏の音」スピーカーの新製品を発売開始。



世界最大サイズ
11インチ画面搭載ナビ

ビッグX “11”

「未踏の音」を奏でる
新スピーカーシリーズ

X Premium Sound



クルマ社会の進化に合わせ、中長期的に事業領域を拡大。



構造変化に伴い捉えるべき領域が急拡大→アライアンス・共同開発推進。

従来

クルマが単体
で成立した時代



アルパイン
既存事業領域

情報機器



音響機器

潮流

1.クルマの
電動化

2.コネクテッド

3.自動運転

4.カーシェア

5.ユーザー
エクスペリエンス

次世代車載システムと先行取組み

カーシェア社会（所有から利用へ）

カレコ協業

① ALPS共創
IBM協業

③ 東芝協業

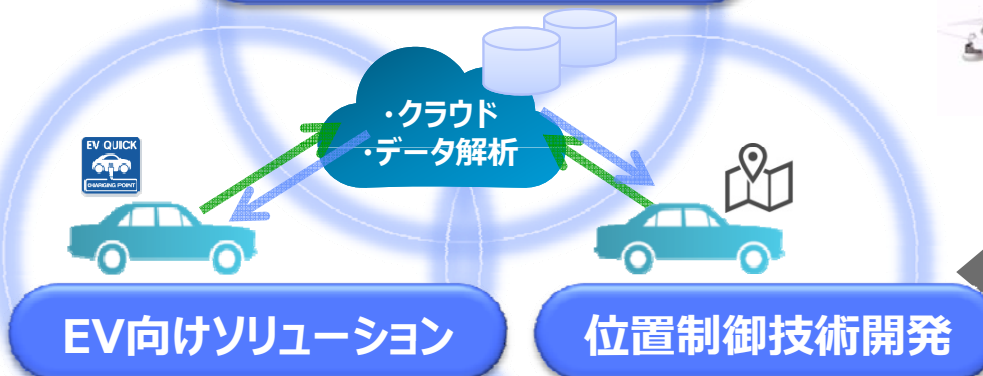
HMI
次世代コネクテッドシステム



EV向けソリューション



位置制御技術開発



② Neusoft REACH設立

地域復興実用化プロジェクトとして推進

福島イノベーションコースト構想参画

⑤

“安心・安全”に+αの付加価値を加えたHMIを創造するビジネス領域へ



ドライバーズ
ディストラクション
極小化

多コンテンツ
ビジュアルメディア
拡張表示・操作

「人・街」の情報を収集し、ドライバー・同乗者に快適なドライブを提供。
日本IBMと次世代車載システム開発で連携。

アルパイン & IBMの協業領域

地図情報

周辺情報
(Twitter等より)

ドライバーとの
やりとり

各種センサー

Watson IoT
for Automotive

ALPINE × IBM

地図情報・周辺情報・
運転情報などを分析

API
(Application
Programming Interface)

ALPINE × IBM

車と各種サービスを
つなぐインターフェイス

アルパイン
ユーザー



ドライバーを取り巻く情報の分析システム &
車と各種サービスをつなぐシステムを共同開発

合併会社 Neuosft Reach Automotive Technology を設立。

合併会社 Neuosft Reach Automotive Technology



Neuosft

- ◆ 設立：1991年 (当時アルパイン50%出資)
- ◆ 従業員数：約2万名
- ◆ 時価総額：228億元 (約3,500億円)
- ◆ 株式：上海証券取引所 上場
- ◆ 事業：ソフトウェア開発
(自動車・医療・教育システム 等)

* アルパインは大株主として10%ほど株式保有



次世代自動車の基幹となるEV、クラウド、ADAS技術を融合し、トータルソリューション提供を目指す。

Neusoft強み：IT総合技術(インフラ、セキュリティ)

EV

バッテリーパック
バッテリー監視
充電スタンド

Connected car

テレマティクス・エンタメ
電気自動車管理
カーシェアリング

ADAS

ドライバアシスト
カメラ・センシング
ADAS

BAT Pack BMS



ADAS



ICS



Cloud PF



Car Sharing



Internet



ドローンによる電力インフラの巡視・点検システムを開発。
(株)東芝様とドローンを活用したサービスで連携。

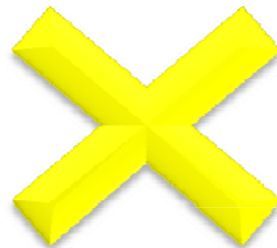
アルパイン

ナビ技術と航行制御技術
(GPS、ジャイロ機能、地図情報連携など)



安全で効率的なドローン飛行

- ◆電力インフラ設備・施設の安全で高効率な点検作業に貢献
- ◆2017年度中の実用化を目指す



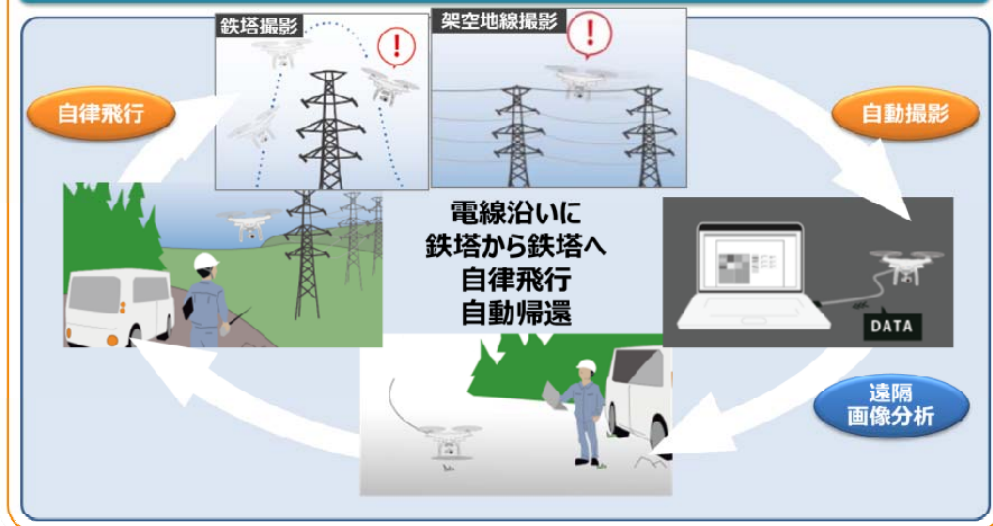
東芝 様

画像処理・分析・検出の仕組みを
構築したIoT技術



要点検個所の短時間検出

産業用ドローンを使用したインフラ向け巡視点検サービス事業を共創



アルパイン製品搭載のシェアリングカーを体感してもらい、その魅力を広く訴求

*カレコ…三井不動産リアルティ(株)子会社のカーシェアリング・ジャパン(株)のサービス(カレコ・カーシェアリングクラブ)



- ◆カレコが提供するミニバン シェアリングカー6台にビッグXシリーズを搭載
- ◆普段ミニバンに乗らない・持っていない方々に製品を体感してもらい、魅力を訴求

普段ミニバンに
乗らないお客様

特別なシーンでミニバンをカーシェアリング
→ 搭載されているアルパイン製品を体験

ユーザーニーズ・
カーシェア時代の
エン터테인먼트
ニーズ収集



普段はセダンや軽自動車
もしくは車保持せず



キャンプ・大人数ドライブ…



モビリティ技術を強化することで、浜通りの魅力あふれる地域再生に貢献

福島イノベーションコースト構想 とは？

- ・震災からの復興を目的
- ・浜通りに先端的な産業の集積を創出
- ・2020年東京オリンピックまでを目標
- ・重点分野に対して実用化開発費等の費用補助

国

補助

福島県

補助

民間企業等

廃炉やロボット技術に関連する研究・開発

エネルギー関連産業の集積

先端技術を活用した農林水産業の再生

未来を担う人材の育成強化

開発
支援

アルパインの事業

1. 自動運転車向けシステム開発
2. センサー、通信、サーバー、AI等を駆使したパーソナルモビリティ開発
3. 無人飛行機(ドローン)自動航行システム開発



いわき市



Driving Mobile Media Innovation